講義名称	教育課程総論
開講責任部署	大学
講義区分	講義・演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24106316

担当教員

氏名	所属
◎ 木谷　葉子	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	保育所保育指針及び幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要を理解し、保育内容の歴史的変遷を通して理解を深める。子どもやその集団の発達特性や発達過程を踏まえ、指導計画の作成、観察や記録の観点を修得し、保育内容と子ども理解との関わりについて学ぶ。
到達目標	・保育目標、子どもの発達、保育の内容を関連付けて保育内容が理解できるとともに、保育の全体的な構造が理解できるようになる。・保育内容の歴史的変遷について理解できるようになる。 ・子ども理解を深め、興味や関心、実情に応じた具体的な指導の在り方を理解し、子どもの生活全体を通して養護と教育が一体的に展開することを保育実践につなげて習得できるようになる。 ・保育の現状に応じた教育課程の在り方について、習得、理解できるようになる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 ガイダンス、[保育内容]とは。戦後における保育内容の展開	
	【事前事後学修の内容】 子どもの頃の記憶に残る遊びや好きだった遊びをまとめる	【事前事後学修時間（分）】 30
第2回	【授業計画】 保育の基本と保育内容を理解する （子どもになって保育内容を理解する）	
	【事前事後学修の内容】 事前に様々な遊びと保育内容との関連をまとめる。事後提出する	【事前事後学修時間（分）】 30
第3回	【授業計画】 保育の基本と保育内容を展開する(グループワーク)	
	【事前事後学修の内容】 遊びが子どもの重要な学びであるという体験し、レポートにまとめる。事後提出する。	【事前事後学修時間（分）】 60
第4回	【授業計画】 遊びや生活を通して学ぶ（実践記録をもとにディスカッションする）	
	【事前事後学修の内容】 事前に実践記録を目を通しておく	【事前事後学修時間（分）】 30
第5回	【授業計画】 現場の保育体験もしくは、DVDからの、エピソード記録をとる	
	【事前事後学修の内容】 保育体験、もしくはDVDの感想をまとめ、提出する	【事前事後学修時間（分）】 40

第6回	【授業計画】 領域と保育内容（グループワーク）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	領域について調べてまとめる。グループワークに積極的に参加できるようにする	40
第7回	【授業計画】 領域と保育内容を事例で学ぶ（グループワークとデスカッション）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	５領域についての演習問題（事例）は考えをまとめる	40
第8回	【授業計画】 指導計画の作成の理解	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指導計画にはどのような計画があるか、評価の考え方等調べておく。事後提出する	30
第9回	【授業計画】 養護と教育が一体的に展開する保育	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	養護と教育について事前に調べる。事後提出する	30
第10回	【授業計画】 子どもの主体的性を尊重する保育（事例をもとにグループワーク・発表）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	幼児の主体的な遊びを展開する事例を読み考えをまとめる	40
第11回	【授業計画】 環境を通して行う保育（ディスカッション）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	環境とは何か。子どもの育ちを保障する環境について考えをまとめ提出する	50
第12回	【授業計画】 個と集団の育ちを支える保育	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	一人一人に応じた保育の重要さをまとめる。事後提出する	40
第13回	【授業計画】 家庭や地域との連携を踏まえた保育（グループワークと発表）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	小学校への接続をふまえた保育の重要性を考え、まとめる	40
第14回	【授業計画】 多様な保育ニーズについて（グループでテーマを決めて話し合い、発表）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	多様な保育の実態を調べ配慮や支援の在り方についてレポートをまとめる。事後提出する	50
第15回	【授業計画】 手作り遊具の発表。まとめと保育内容の課題	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	子どもが楽しめる手作り遊具を発達に合わせたものを考え、事前に少しづつ作成し発表できるようにしておく	60

履修に必要な予備知識や技能	授業に参加する前に必ずテキストを読み、演習問題は考えをまとめておく。また初めて出会う用語の意味を調べる。授業後は、講義内容について復習をし、自己課題を見つけ探求する。
課題に対してのフィードバック	授業内外での課題やレポート、成果物等は点検・添削された後、次回以降の授業で返却されます。その際、講評します。復習の材料とする。
評価方法・基準	定期試験60%、小テスト・ミニレポート20%、受講態度（取り組む姿勢・参加度）20%を総合的に評価する

教科書	テキスト：「新しい保育講座４　保育内容総論」大豆生田啓友（ミネルヴァ書房） 参考書　：「幼稚園教育要領解説」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」、「保育所保育指針解説書」
備考	テキスト以外にプリントやパワーポイントなども使用する。事前学習を行い、積極的に授業（グループワーク）に取り組んだり、課題提出日等のルールを守る。
実務経験の内容・期間	保育士経験6年、幼稚園教諭21年 専門学校幼児教育学科教員10年経験する。